

成果発表

group 6

成房、石浦、大原、江本

1.

要求仕様




システムの概要

- 人感センサーを用いて周囲を監視し、反応があればLINEで通知
- 人感センサーが反応したとき、照明を操作
- 一日のうちに人感センサーが反応した時間をLINEで送信



要求仕様

- ユーザは、LINEで防犯の開始時刻、および終了時刻を設定できること
 - ユーザは、LINEの通知により、人感センサーに反応があったことを知ることができること
 - ユーザは、LINEのメッセージにより、一日のうちに感知した時間の一覧を確認できること
- 

想定する利用者

- ・一人暮らしをしており、防犯対策を強化したい人
- ・子供や高齢者が家に一人で居て、不安な親や介護者

例えば

- ・認知症の高齢者が一人で外に出て迷子になることを防ぐ
- ・子供が帰宅したことを知る

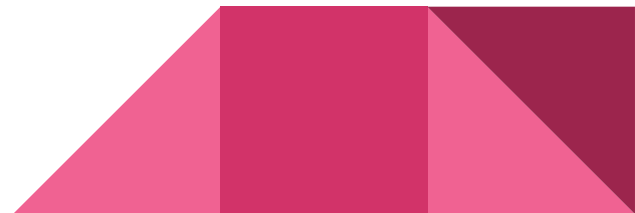


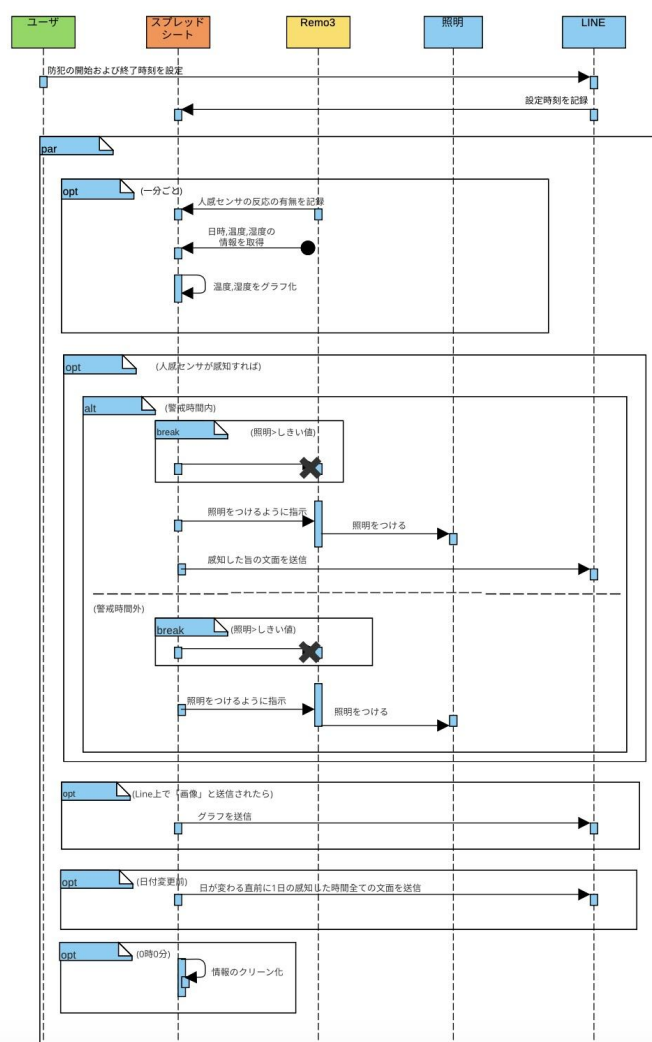
2.

設計



システム処理の流れ(シーケンス図)





必要なモジュール

- スプレッドシート管理用プログラム
- remo3からのデータ取得用プログラム
- センサーデータ管理用プログラム(人感センサと反応時刻を取得)
- LINE用プログラム(人感センサの反応状況、反応時間を通知する)
- 照明操作用プログラム(人感センサが反応したら操作する)

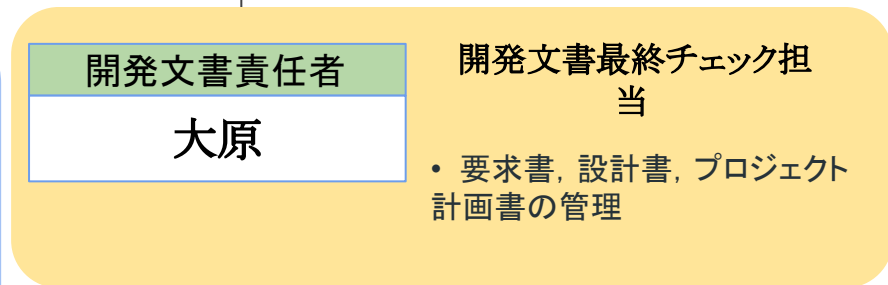
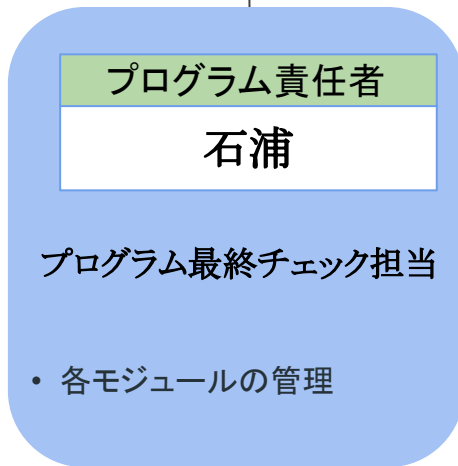
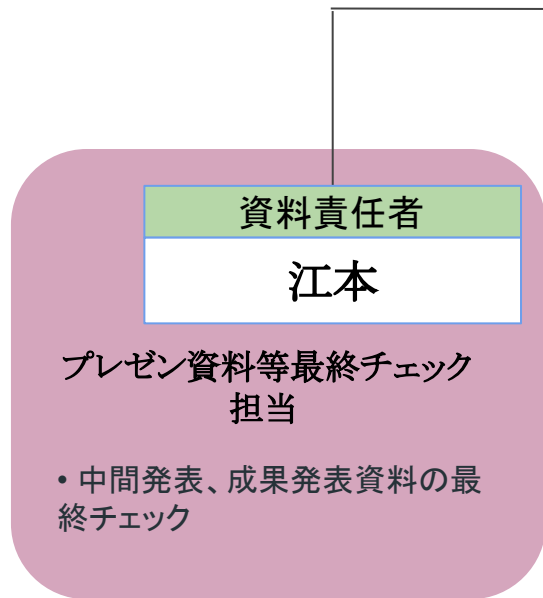
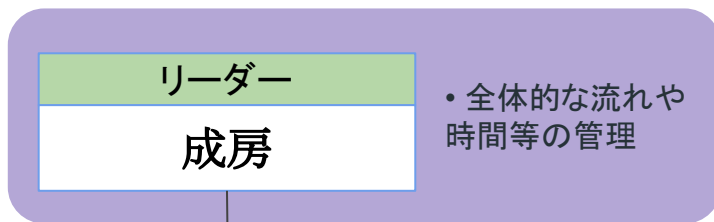


3.

プロジェクト計画



開発体制



開発スケジュール

作業内容	担当	5/1 4限	5/8 3限	5/8 4限	5/15 3限	5/15 4限	5/22 3限	5/22 4限
要求仕様書・設計の見直し	全員							
LINEの応答プログラム	石浦							
Remo3の人感センサの データ取得プログラム	大原							
照明用プログラム	大原							
感知した時間が警戒時間か どうかを比較検討するプログラム	江本							
感知した時間のみを 取り出すプログラム	成房							
システムテスト	全員							
成果発表資料作成	成房							

4.

結果

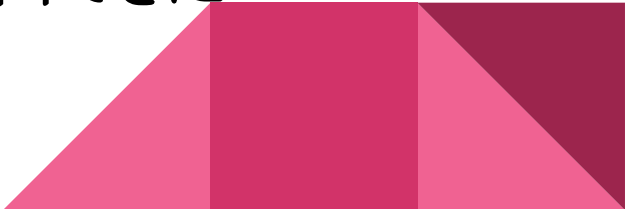


要求仕様や設計通りに開発できたか？

→できた 追加で実装できたら良いなと考えていた照明も
することができた

計画通り開発できたか？

→分担項目をより詳細に分けてすることでそれぞれがやらなければならないことが明確化され順調に計画できた



5. 感想

- LINEAPIが大変だった
- Remo3のAPIは思っていたほど難しくはなかった
 - コードがわかりやすかった
- 計画通り順調に開発できて良かった



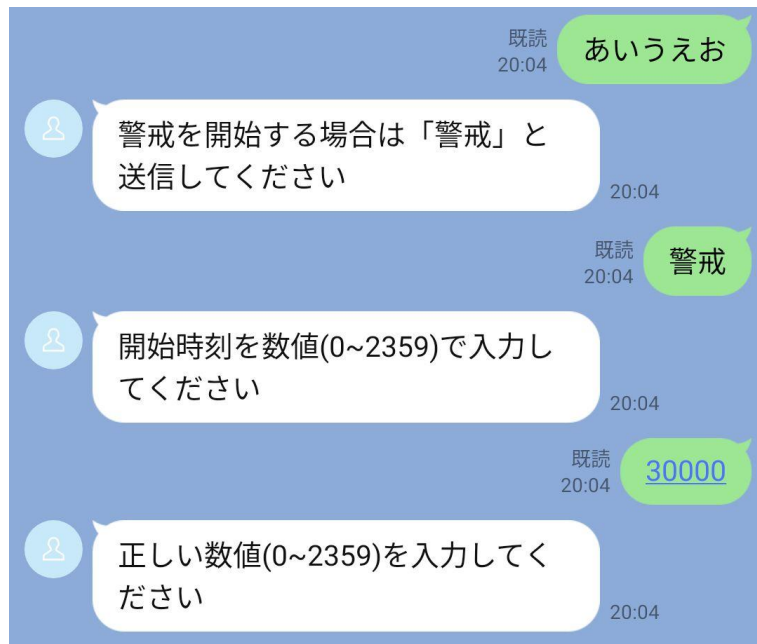
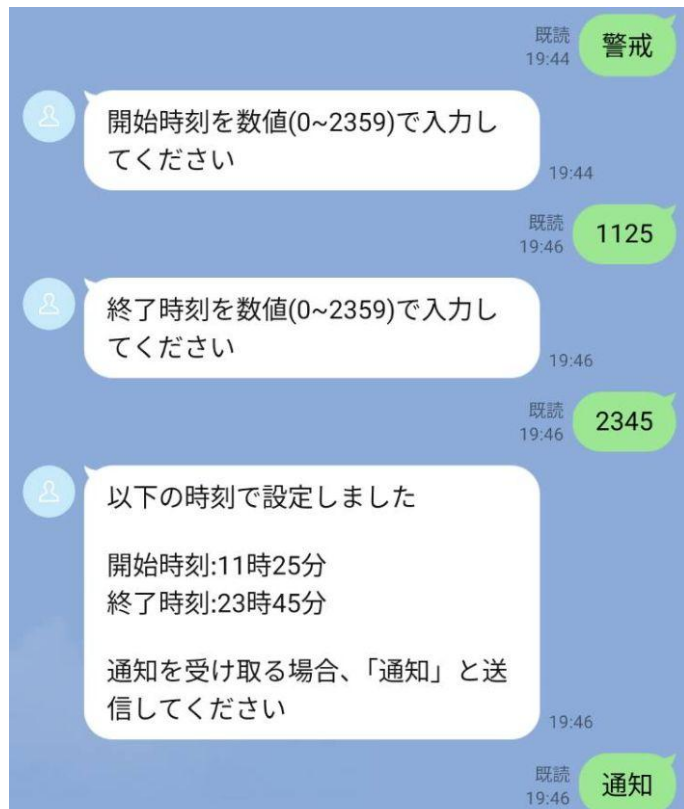
6.

デモンストレーション

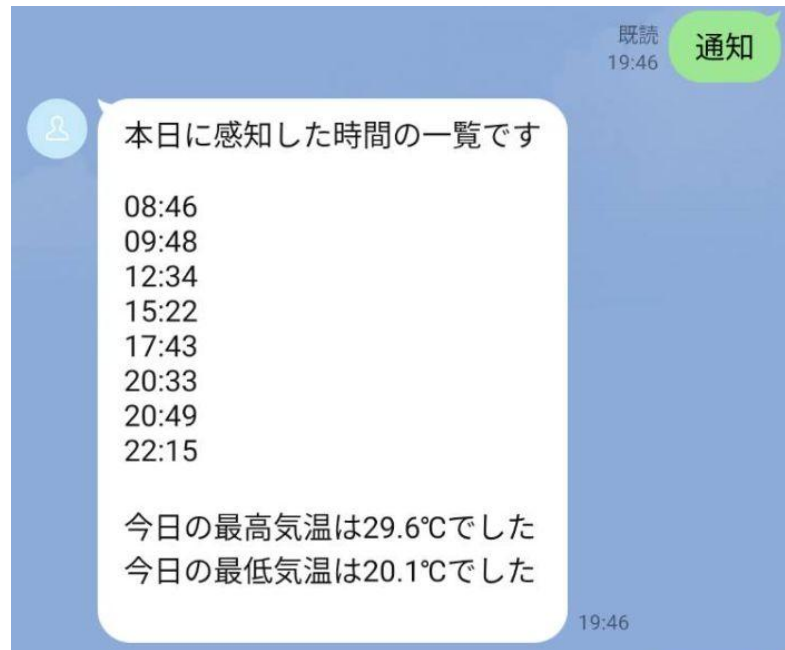
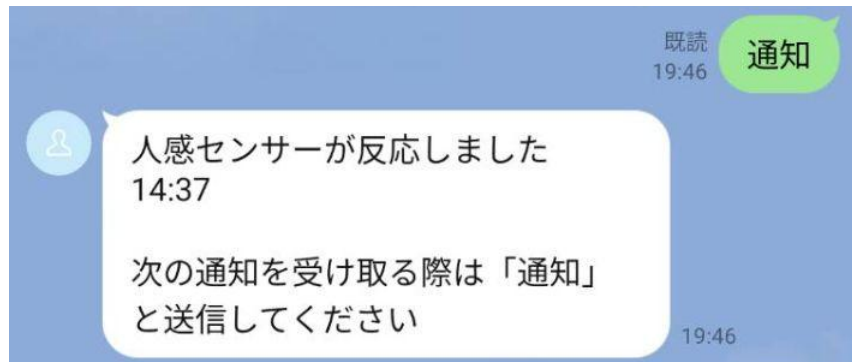
(画像)



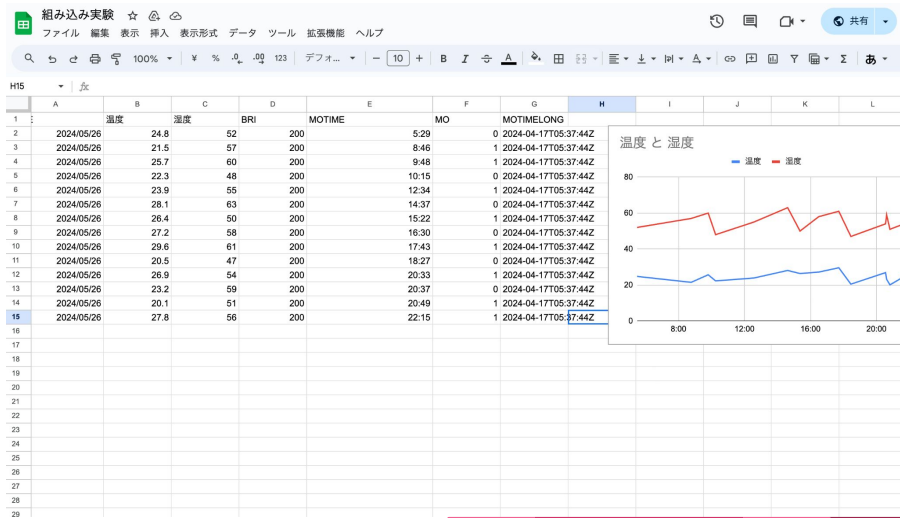
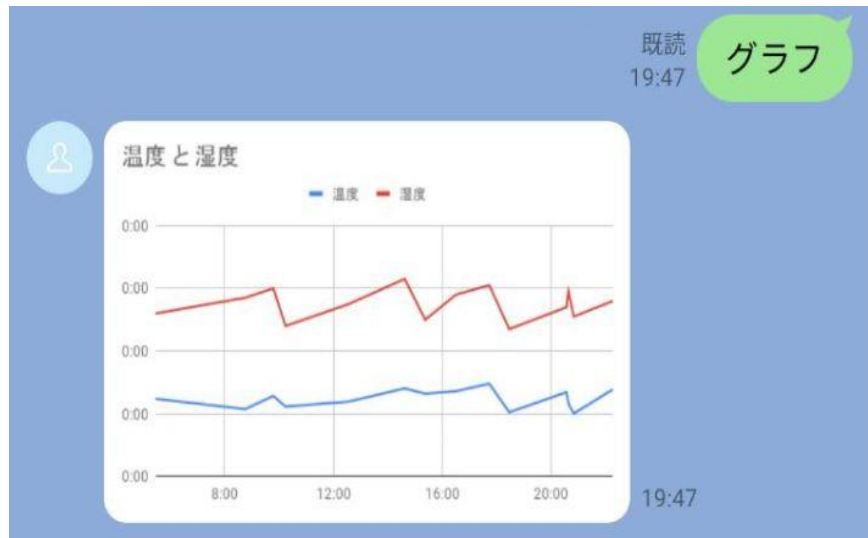
・実際の画面(導入)



・実際の画面(通知)



・実際の画面(グラフ)



・実際の画面(リッチメニュー)

メッセージの送信

その他の機能

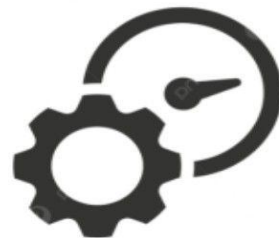
通知を受け取る際は 警戒を始める際は 温度と湿度の推移は
通知と **警戒**と **グラフ**と
送信してください 送信してください 送信してください



メニュー画面を開く ▾

メッセージの送信

その他の機能



manaba +R



メニュー画面を開く ▾

・参考/利用したサイト(最終閲覧日:2024/5/26)

- ・[【Messaging API】リッチメニューを作成する](#)
 - ・[Postman](#)
 - ・[LINE Developers](#)
 - ・[【GAS】2週間気温予報のデータをグラフ化してLINE で画像メッセージとして配信する](#)
 - ・[Google Cloud](#)
 - ・[Canva](#)
- 